

ダンス、音楽、絵、食、映画が、
化学反応→爆発するッ!!!

「味園が一番おもしろかったときのお祭り感を、もう一度!」とは今や世界規模の活躍をみせるダンス・カンパニー (BABY-Q) の東野祥子の言葉。彼女の呼び掛けで、大宴会がブチまけられるのだ! 元々、彼女は大阪にいた頃に千日前のデカラメ満載の雑居ビル、味園の二階でCAFE-Qというお店をやっている、この建物には他にもレコ屋やバーやマッサージ屋、MACAOに鶴の間といったスペースもあった。そこでは夜な夜な大阪のいろん

な種類の不良たちが入り乱れていたのだ。

BABY-Qの新作公演で幕を開ける二日間は、京都在住の奇才・山本精一率いるPARAなど40組以上のライブをメインに、DJ×ライブ・ペインティングのオールナイト・パーティ、30店舗以上が軒を連ねる商店街や柴田剛監督作品の上映、それに…と、もう何がなんだか、なくらい詰め込んでドンッ! なカオスっぷりで実に大阪らしい宴が始まるのだ。

(中谷琢弥)

- 「BAKUTO OSAKA 2008」 ■ 9.6 (Sat)・9.7 (Sun) ■ 9.6 (Sat) : 18:00~翌5:00 9.7 (Sun) : 11:30~23:00
- 前売り3000円 当日4000円 二日共通チケット: 前売り4000円 当日5000円
- 出演/9.6: BABY-Q公演 (18:00~) / 22:00~ DJ:EYE, ALTZ, NOBU, HIKARU, CMT, 他 PAINTER:DRAGON, 小澄源太, ヨシカワショウゴ, 他 9.7: 赤犬, あふりらんぼ, 1★狂, EERECTIONN, OIOIO, オシリペンペンズ, OVe-NaXx, KA4U, guipeph, SOUL FIRE, DMBQ, PARA, BOGULTA, 他
- 名村造船所跡地 大阪住之江区北加賀屋4-1-55 06・4702・7085 (バクト大阪実行委員会)
- <http://www.bakuto-osaka.com>



ZETTAI-MU 13th
ANNIVERSARY

日本全土からの同志たちが、
演者もクラウドも集結する。

京都を本拠地とし、日本全土に怒濤の重低音を響かせる1945 a.k.a. KURANAKA 率いる「Zettai-Mu」が、昨年に続きアニバーサリー・スペシャルとして特大の一夜をお届けする!!!

超待望! ダブ族は昇天必至! AUDIO ACTIVEの久々のライブを始め、第2弾アーティスト発表時点ですでにDJ KRUSH, KODAMA KAZUFUMI, OKI DUB AINU BAND, DJ BAKU, KURANAKA, そしてTHA BLUE HERBとSHING02 with THE

HEAVYMANNERSと、問答無用のキャストが決定中。ってちょっと待って、最後のふたつが同じ夜にクレジットされるなんて、前代未聞じゃないか!? ヘッズなら誰しもが血液逆流するほどの興奮を覚えるはず。もう「Zettai-Mu」にしかできないよ、こんなの!

巷に散乱するフェスなんかでは到底辿り着くことの出来ないワンナイト。今宵、とことん楽しもうぞ。

(中谷琢弥)

- 「ZETTAI-MU 13th ANNIVERSARY」 ■ 9.20 (Sat) ■ OPEN 21:00~ / START 21:30~
- 前売り5500円 当日6000円 ※当日は大変混雑が予想されます。ご希望の方は前売りチケットの購入をお勧めします。
- 名村造船所跡地 大阪住之江区北加賀屋4-1-55 06・4702・7085 (BLACK CHAMBER事務局)
- 13th@zettai-munet <http://www.zettai-munet/13th2008/>



~京女・真摯のactive life~
月刊 芸妓自身!!

MAKOTOブログ 京女のつれづれ草
<http://www.cafeblo.com/kyoto/>

MAKOTO率いる京都発信エンターテイメントチームHP
<http://www.chimalabel.com>



「カスタム団扇」の巻

夏になりますと芸妓さん舞妓さんの団扇を飾ってあるお店がチラホラ。視覚から入る「涼」の象徴ともいえましょうか!? 風情ありますよねえ。

毎年、「そろそろ祇園さんやなあ〜」と暑い京の夏に覚悟を決める頃、源氏名が入った団扇を作り、普段お世話になりますお師匠さんやお茶屋さん、お料理屋さんやバー、喫茶店などにお配りさせて頂きます。私の場合、団扇配りは男衆さんをお願いしております、日差しの強い日中に山盛りの団扇リストを見ながら配って下さいます。勿論、私だけの分ではないので男衆さんも大変です。

私がおります祇園甲部の場合は、置屋さんに所属の人は置屋さんの屋号と本人の源氏名、自前(独立)の人は名字と源氏名を書き、裏にはそれぞれの家紋が入ります。白地に朱色の文字で書かれた団扇はなんとも華やかです! その上、丈夫に出来ておりまし

て、時にまだ置屋さんにいた時のヴィンテージ物を見かける事もあり、「これはレアモノ!!」とびっくりする事もあったりします…って別に値打ちがある訳ではないですけどね(笑)

団扇の発注は秋が冬に忘れましたが、団扇を作ってくれはるお店からお電話が入ります。「毎年の本数でよろしおすか?」。夏が想像出来ない時期なので、ピンと来ないままとりあえず「へえ」なんてお返事をさせて頂きますが、今年はちょっと足りなかったのが来年は本数増やさなければなりません!! 嬉しい事ですね、ご縁が増えているという事ですから!

ところで、何故源氏名と言うかという話を、つい先日お聞きしたのですが、昔、太夫さんのお名前をつけるのに源氏物語から名前をとって例えば「夕霧太夫」などと命名されたからだそうです。そこからステージネームを源氏名と言いだめたのだとか。

さ、来年は何本にしようかなあ。



編集長はんにも差し上げました(手渡し!) 今月は、特集 (P.11) にも出してあります